

三鷹市立中原小学校 令和5年度【国語】科 授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○起こったことや自分の気持ちを簡単な文で書けるように指導を行い、出来事や気持ちを2～3行で書くことができる。 ○正しい鉛筆の持ち方が身につけていない。 ○ノート指導ではノートを写すことが児童にとって分かりやすい。書画カメラやタブレットを活用した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ひらがなの学習はすべて終了したが、文字の部屋を意識して書いている児童とそうでない児童の差が大きい。ひらがなを読めない、書けない児童が数名いる。 ②「聞く」ができない、聞き方、聞いたことを理解することができない児童が多い。 	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に文字を書く意識もったり、習った漢字を使って文を書いたりする児童も増えた。 ・板書をうつすことに慣れ、丁寧に早く書けるようになった。自分なりに工夫できる児童も出てきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく漢字を覚えていない児童が多い。文章の中で使っている児童の個人差も大きい。正しい鉛筆の持ち方が身につけていない児童もいる。 ・気持ちを詳しく文章で表現できる児童も増えたが、いつも似たような表現になっている。 ・話を正しく聞いて理解する、相手の言ったことを繰り返して伝える、話をつなげる力がまだ十分に身につけていない。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新出漢字は、ドリル・ノート練習・小テストを用いて繰り返し練習している。ノート、作文指導で習った漢字を用いたり、使っていない場合は書き直させたりしている。 ○登場人物の行動から気持ちを想像し、読み方の工夫を考えさせ、繰り返し音読をしている。気持ちが想像しやすいよう、動作化したり吹き出しを用いたワークシートを活用したりしている。 ○体験したことや興味をもてる題材を選び、構成を考え、順序良く文章を書くように指導している。 ○良い聞き方、話し方、話をつなげるための工夫を考えて、意識して話せるようにしている。積極的に話をしようとする児童は多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文を書くときに既習の漢字を正しく使うこと。漢字を覚えていない、文章で活用できない児童への指導。 ②気持ちの表現の仕方が単一になりがちである。語のまとまりを意識して音読ができない児童への指導。 ③構成や表記の約束等を意識して、意味が理解でき、伝えたいことが分かりやすい文章が書けるようになること。 ④話す、聞くの基本的な態度、相手が開きやすい話し方をする、相手の話を受けて自分の話ができるようになること。 	
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典やタブレットを使い、分からない言葉や意味があれば確認する習慣がついてきた。 ・ローマ字の仕組みを知り、キーボードで自主的に練習するなど意欲的に取り組みをつけた。 ・聞き取る際、態度とともに大事なことをメモに書くことがあることが定着してきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字の定着の差が大きくなり、基礎基本の定着が必要である。 ○自分の伝えたいことを相手に伝えることや相手の話したいことを聞き取ることがあまいで伝え合い及びコミュニケーションをとることに苦手感がある。 ○言葉の意味が分からず国語に限らず、他の教科の問題文が読み取れないまま問題を解いていることがある。 ○文字の習得とともに原稿用紙等の使い方、基本的な文字の扱い、原稿用紙の使い方が定着できていない。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の小テストを行っているが、結果の差が大きく、定着が難しいところがある。 ・人物の気持ちや行動が分かる箇所をサイドラインを引く等、叙述にある根拠を明確にしなが登場人物の心情を考えている。 ・大事なところ聞き取って、あらすじをまとめてメモや簡条書きをしりするの練習をしている。 ・国語辞典の使い方を知り、他の単元でもわからない言葉があると国語辞典を引くなど、授業で活用している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漢字の読み方を覚えきれず、既習の漢字を文中で使うことが難しい。 ②言葉の意味や使い方が分からず、伝えたいことが詳しく表すことができない。 ③作文するとき、主語と述語がはっきりしないことや、正しく表現することができない。 	
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の中で、文章において漢字が果たす役割を丁寧に指導することで、正しく相手に伝えるためには必要なことであるという認識が高まった。 ○国語だけでなく、様々な教科の中で文章を書く機会を意図的に設けるようにした。書くことに慣れ、書いたものを見られることで文章力の向上が見られる。 ○物語、評論分、それぞれの文章を特性を理解し構成を丁寧に学習することで、段落や接続語に注目して読むことができる児童が増えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下学年時の漢字の積み重ねがなく、書かないではなく書けない児童が各クラス複数人いる現状がある。 ○書く機会を増やしたことで文章力の向上もみられるが、まだまだ個別に対応が必要であったり、指導が必要であったりする児童が多い現状がある。 ○自分の考えの根拠を示して文章を書くことが苦手な児童が多い。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字テストに向けての計画的に学習プランを立て取り組む児童と声掛けが必要な児童がいる。 ・単元によっては読みの理解を深めるために演技や動作化を取り入れたり、具体物の提示したりする。(ICT機器の活用や拡大コピー等) ・グループでの話し合いの際には、話し合いの進め方や質問の仕方などを提示し、話題に沿って話す。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①普段の文章の中で漢字を正しく使うこと、作文の書き方の基礎が抜けている児童が多い。 ②文章の大体を捉えることができているが、段落や接続語などに注目して読むことが課題である。 ③自分の考えの根拠となるところと考えをまとめて作文するのが苦手である。 ④自分の考えを書くこと、文章を読み取ることに苦手意識が多く、解答を諦めてしまうことがある。 	
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習では自ら計画的に学習する児童が増えてきた。 ・文章を読み文章の構成を理解したり、段落相互の関係を捉えたりする力がついてきた。 ・文章の中から大事な言葉（キーワード）を見つけ、要旨をまとめたり、自分の考えを書き表したりすることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の習得にかなりの個人差があり、個々に応じた手立てが必要である。 ・内容を理解するだけでなく、文章を読むことの面白さや表現することの楽しさを味わわせない。 ・文章を書く際には、書き方の型を示したりワークシートを用意したり支援が必要である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の形は覚えているが、漢字の意味や使い方、部首やつくりまで理解できている児童は少ない。 ・書いたり音読したり、自分なりに表現することが苦手な児童が多い。 ・他者の考えと比較したり、自分の考えを見直したりして学習を深めるために、話し合いや交流の時間を設けるようにしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漢字練習する際に熟語や簡単な文で練習したり、辞書で意味を調べたりすることができていない。 ②抽象的な表現しかできず、自分の考えや情景など詳しく書いたり説明したりすることができない。 ③自分とは違う考えや捉え方について、それぞれのよさを見出したり、多様な考えを認め合ったりすることに課題がある。 	
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①叙述を基に理由を考えられるようになってきた。 ②要旨や要点などを抜き出しまとめることができるようになってきた。 ③話を聞いて、簡単な文章にまとめることができるようになってきたC8・E10。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①漢字の理解、定着度に差がある。 ②主語と述語の関係の理解が曖昧である。 ③短い作文等の文章の構成力に差がある。 ④知識・技能と思考・判断・表現力の評価が難しい。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語の要旨を一文で表すことで主題を明らかにする学習を取り入れ、読みを深められるようにしている。 ・登場人物の心情や説明文での作者の考えを、自分なりに述べられるようにしている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①物語の要旨を読み取る学習では共感する態度の有無が読みの深さや関係しており、二極化傾向がある。 ②「自分なり」が難しく、発表をためらう児童が見られる。 ③書く内容や方法の知識が乏しい児童が見られる。 	